

「八尾のベトナム人」

現在八尾市には、約 1400 人のベトナム住民が共に暮らしています。
(2018 年 1 月現在) 彼らが日本に移住し定住するようになって約 40 年になります。ベトナムの人たちが増えるきっかけになったのは、1954 年に南北に分断されたベトナムを統一しようと、1975 年まで続けられたベトナム戦争が大きく影響しています。また、統一後も周辺国との戦争が始まるなどの影響で、国内において様々な混乱がおり、人々の不安が大きくなるなどの理由で、多くの人々が国からのがれざるをえませんでした。

彼らは、難民とかボートピープルと呼ばれましたが、小船に何十人もが箱詰め状態となり、船の沈没や飢え、海賊からの襲撃などという生命の危険を冒して脱出しました。彼らをいち早く最も大量に受け入れたのはアメリカで、戦争終結から 10 数年の間に約 70 万人がアメリカに移住しました。その他にもカナダ、オーストラリア等へ移住した人たちもたくさんいます。日本が難民の受け入れを開始したのは、1978 年のことで、「インドシナ難民」という枠で、カンボジア・ラオス・ベトナムからの難民を受け入れました。

1979 年に、それまでのボートによる危険な脱出を減少させるため、UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) とベトナム政府との間で「ODP (合法出国計画)」というものが取り決められました。これはすでに難民として来日し定住している人々が、ベトナムに残してきた自分の家族を呼び寄せることの出来るものです。ODP により来日した人々は約 2000 人に上ります。また、日本で生まれた子どもや留学生、就労として来日する人も増え現在に至っています。

一口に「ベトナム人」と言ってもどういった経緯で日本に来たのか、定住して何年になるのか等の違いによりさまざま人たちが生活しています。

このように経緯はさまざまですが、八尾市で生活するベトナム住民は年々増えています。それとともに、とりわけ高美中学校区地域内では、ベトナム料理店や雑貨店を営む人が出てきました。これらは、ベトナムコミュニティの方々を利用するお店として営まれ始めたのですが、少しずつ地域の人たちも利用しはじめるお店もできています。中には八尾市外からのお客もいるようです。

このマップは、まずは“食”を通じてベトナム住民と出会う機会につながればと思い作成しました。ぜひ、ご活用いただき美味しいベトナム料理を堪能下さい。

(このマップでは高美中学校区内の料理店、雑貨店に限定しています)

ベトナム料理(雑貨)店



M A P



高美中学校区限定

特定非営利活動法人トッカビ

〒581-0081 八尾市南本町 7-6-23

TEL072-993-7860 / FAX072-993-7850

メールアドレス office@tokkabi.org



このマップは

「八尾市市制施行 70 周年記念市民提案事業助成金」
を活用して作成されています。